

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590029001	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (E1~E7) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	橋本 千鶴子 / Hashimoto Tiduko		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	E1~E7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	souslepont03▲gmail.com(メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントを取ってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「シェ・マドレーヌ」を使います。この教科書は、大学を出た後、両親の「マドレーヌ」というカフェで働くマドレーヌが主人公です。マドレーヌは日本人のケントと出会い、仲良くなります。でもケントが日本に帰る時が近づいてきます。二人はどうなるのでしょうか？ この授業では、皆さんがマドレーヌとケントになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プチック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「シェ マドレーヌ」(駿河台出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「カフェへようこそ」(1) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) 友達と挨拶をしてみよう
第4回	「カフェへようこそ」(2) 1) カフェで注文してみよう 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「写真見る?」(1) 1) 「~です」の動詞を覚えよう 2) 否定文にする 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「写真見る?」(2) 1) 形容詞を知る 2) 20まで数字を覚えよう 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「私の写真も見て!」(1) 1) 形容詞にも男女がある 2) おいしい! かわいい! すてき! 3) グループレッスンしよう
第8回	「私の写真も見て!」(2) 1) どの国の人? 2) 色を学ぼう 3) 「~です」の小テストをする

第9回	「兄弟いる？」（１） 1）「持っている」を学ぼう 2）持ってるものを言ってみよう 3）どんなペットを飼いたい？
第10回	「兄弟いる？」（２） 1）疑問文を作ろう 2）否定文も作ろう 3）おなかすいて、喉がかわいた。
第11回	「趣味は何？」（１） 1）er 動詞を知る 2）冠詞を知る 3）どこに住んでる？
第12回	「趣味は何？」（２） 1）ir 動詞を知る。 2）好き，嫌いを言ってみる 3）フランスの中の日本は何？
第13回	「どこに行く？」（１） 1）「行く」の動詞を使おう 2）フランスの地方はどんなところ？
第14回	「どこに行く？」（２） 1）映画に行こうよ。 2）カフェオーレを注文するよ 3）お店での会話、ペアレッスン
第15回	「会いに行きたい」 1）「来る」の動詞を知る 2）それどこ？ 3）何してるの？
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590029002	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (G1~G3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	G1~G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階 (B棟 1 階)		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「ルージュ1:トリコロール会話編」を使います。この教科書は、どうすればフランス語でコミュニケーションが上達するようになるかを考えて作られています。楽しいアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使う授業となっています。フランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか?」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ☒ 主体性 / Autonomy ☒ 協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ☒ 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills ☐ D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐ E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐ F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験60%、小テスト15%、課題15%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。		

キーワード/Keywords		
教科書・教材・参考書/Materials	「ルージュ１：トリコロール会話編」（朝日出版社）	
受講要件（履修条件）/Prerequisites		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006 （FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。	
学生へのメッセージ/Message for students	「ただただ楽しい」、「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした！授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです！フランスがとても好きになりました！（先輩のメッセージ）」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N	
実務家教員名／実務経験内容／実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 /
第1回	「フランス語ってどんな言葉？」（１） １）アルファベを発音しよう（１） ２）単語を発音してみよう（１） ３）フランスってどんな国？	A B C
第2回	「フランス語ってどんな言葉？」（２） １）アルファベを発音しよう（２） ２）単語を発音してみよう（２） ３）フランス語で挨拶してみよう	A B C
第3回	「自己紹介をしよう」（１） １）tu と vous ってどう違う？ ２）リエゾンって何？ ３）友達と挨拶をしてみよう	A B C
第4回	「自己紹介をしよう」（２） １）敬語で挨拶をしてみよう ２）別れる時はどう言う？ ３）聞き取りをする	A B C
第5回	「走るのきつい...」（１） １）「～です」の動詞を覚えよう ２）否定文にする ３）ペアレッスンで話してみよう	A B C
第6回	「走るのきつい...」（２） １）形容詞を知る ２）２０まで数字を覚えよう ３）学生ですと自己紹介	A B C
第7回	「新しい先生だ！」（１） １）外国人の友達に聞く。どこの国から来たの？ ２）er 動詞を使ってみよう ３）自分が外国人になってグループレッスンしよう	A B C
第8回	「新しい先生だ！」（２） １）何語が話せる？ ２）電話番号を聞き取ろう ３）er 動詞の小テストをする	A B C
第9回	「ペットなに飼ってる？」（１） １）「持っている」を学ぼう ２）持ってるものを言ってみよう ３）どんなペットを飼いたい？	A B C

第10回	「ペットなに飼ってる？」（ 2 ） 1 ）自分の年を言ってみよう。 2 ）男性と女性の名詞を知る。 3 ）カフェってどんなところ？	A B C
第11回	「こんなところにネコが！」（ 1 ） 1 ）～の上に、～の下に、前置詞を学ぼう 2 ）冠詞を知る 3 ）どこにある？ペアレッスン	A B C
第12回	「こんなところにネコが！」（ 2 ） 1 ）色を学ぼう 2 ）名詞と色を一致させる。 3 ）どんな色？ペアレッスン	A B C
第13回	「練習問題を解いて、フランスの文化について知ろう」 1 ）練習問題 2 ）フランスの地方はどんなところ？郷土料理は何？	A B C
第14回	「洋服を買いに行く」（ 1 ） 1 ）「好き」の動詞を覚える 2 ）好き，嫌いを言ってみる 3 ）お店での会話、ペアレッスン	A B C
第15回	「洋服を買いに行く」（ 2 ） 1 ）どんな que! を知る 2 ）買い物と一緒にいく？ 3 ）メールを書いてみよう	A B C
第16回	定期試験	A B C

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590029003	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (L(仏2)_F1~F3) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	(L(仏2)_F1~F3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「シェ・マドレーヌ」を使います。この教科書は、大学を出た後、両親の「マドレーヌ」というカフェで働くマドレーヌが主人公です。マドレーヌは日本人のケントと出会い、仲良くなります。でもケントが日本に帰る時が近づいてきます。二人はどうなるのでしょうか？ この授業では、皆さんがマドレーヌとケントになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「シェ マドレーヌ」(駿河台出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「カフェへようこそ」(1) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) 友達と挨拶をしてみよう
第4回	「カフェへようこそ」(2) 1) カフェで注文してみよう 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「写真見る?」(1) 1) 「~です」の動詞を覚えよう 2) 否定文にする 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「写真見る?」(2) 1) 形容詞を知る 2) 20まで数字を覚えよう 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「私の写真も見て!」(1) 1) 形容詞にも男女がある 2) おいしい! かわいい! すてき! 3) グループレッスンしよう
第8回	「私の写真も見て!」(2) 1) どの国の人? 2) 色を学ぼう 3) 「~です」の小テストをする

第9回	「兄弟いる？」（１） 1）「持っている」を学ぼう 2）持ってるものを言ってみよう 3）どんなペットを飼いたい？
第10回	「兄弟いる？」（２） 1）疑問文を作ろう 2）否定文も作ろう 3）おなかすいて、喉がかわいた。
第11回	「趣味は何？」（１） 1）er 動詞を知る 2）冠詞を知る 3）どこに住んでる？
第12回	「趣味は何？」（２） 1）ir 動詞を知る。 2）好き，嫌いを言ってみる 3）フランスの中の日本は何？
第13回	「どこに行く？」（１） 1）「行く」の動詞を使おう 2）フランスの地方はどんなところ？
第14回	「どこに行く？」（２） 1）映画に行こうよ。 2）カフェオーレを注文するよ 3）お店での会話、ペアレッスン
第15回	「会いに行きたい」 1）「来る」の動詞を知る 2）それどこ？ 3）何してるの？
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590029004	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (T(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西津 佐和子 / Nishitsu Sawako		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	T(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishitsu.nu▲gmail.com (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「シェ・マドレーヌ」を使います。この教科書は、大学を出た後、両親の「マドレーヌ」というカフェで働くマドレーヌが主人公です。マドレーヌは日本人のケントと出会い、仲良くなります。でもケントが日本に帰る時が近づいてきます。二人はどうなるのでしょうか？ この授業では、皆さんがマドレーヌとケントになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プティック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「シェ マドレーヌ」(駿河台出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「カフェへようこそ」(1) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) 友達と挨拶をしてみよう
第4回	「カフェへようこそ」(2) 1) カフェで注文してみよう 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「写真見る?」(1) 1) 「~です」の動詞を覚えよう 2) 否定文にする 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「写真見る?」(2) 1) 形容詞を知る 2) 20まで数字を覚えよう 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「私の写真も見て!」(1) 1) 形容詞にも男女がある 2) おいしい! かわいい! すてき! 3) グループレッスンしよう
第8回	「私の写真も見て!」(2) 1) どの国の人? 2) 色を学ぼう 3) 「~です」の小テストをする

第9回	「兄弟いる？」（１） 1）「持っている」を学ぼう 2）持ってるものを言ってみよう 3）どんなペットを飼いたい？
第10回	「兄弟いる？」（２） 1）疑問文を作ろう 2）否定文も作ろう 3）おなかすいて、喉がかわいた。
第11回	「趣味は何？」（１） 1）er 動詞を知る 2）冠詞を知る 3）どこに住んでる？
第12回	「趣味は何？」（２） 1）ir 動詞を知る。 2）好き，嫌いを言ってみる 3）フランスの中の日本は何？
第13回	「どこに行く？」（１） 1）「行く」の動詞を使おう 2）フランスの地方はどんなところ？
第14回	「どこに行く？」（２） 1）映画に行こうよ。 2）カフェオーレを注文するよ 3）お店での会話、ペアレッスン
第15回	「会いに行きたい」 1）「来る」の動詞を知る 2）それどこ？ 3）何してるの？
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590029005	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	L(仏1)_P1・P2_J1~J3_T(仏1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「シェ・マドレーヌ」を使います。この教科書は、大学を出た後、両親の「マドレーヌ」というカフェで働くマドレーヌが主人公です。マドレーヌは日本人のケントと出会い、仲良くなります。でもケントが日本に帰る時が近づいてきます。二人はどうなるのでしょうか？ この授業では、皆さんがマドレーヌとケントになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プチック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「シェ マドレーヌ」(駿河台出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「カフェへようこそ」(1) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) 友達と挨拶をしてみよう
第4回	「カフェへようこそ」(2) 1) カフェで注文してみよう 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「写真見る?」(1) 1) 「~です」の動詞を覚えよう 2) 否定文にする 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「写真見る?」(2) 1) 形容詞を知る 2) 20まで数字を覚えよう 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「私の写真も見て!」(1) 1) 形容詞にも男女がある 2) おいしい! かわいい! すてき! 3) グループレッスンしよう
第8回	「私の写真も見て!」(2) 1) どの国の人? 2) 色を学ぼう 3) 「~です」の小テストをする

第9回	「兄弟いる？」（１） 1）「持っている」を学ぼう 2）持ってるものを言ってみよう 3）どんなペットを飼いたい？
第10回	「兄弟いる？」（２） 1）疑問文を作ろう 2）否定文も作ろう 3）おなかすいて、喉がかわいた。
第11回	「趣味は何？」（１） 1）er 動詞を知る 2）冠詞を知る 3）どこに住んでる？
第12回	「趣味は何？」（２） 1）ir 動詞を知る。 2）好き，嫌いを言ってみる 3）フランスの中の日本は何？
第13回	「どこに行く？」（１） 1）「行く」の動詞を使おう 2）フランスの地方はどんなところ？
第14回	「どこに行く？」（２） 1）映画に行こうよ。 2）カフェオーレを注文するよ 3）お店での会話、ペアレッスン
第15回	「会いに行きたい」 1）「来る」の動詞を知る 2）それどこ？ 3）何してるの？
第16回	定期試験

学期 / Semester	2023年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 2
開講期間 / Course duration	2023/04/01 ~ 2023/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20230590029006	科目番号 / Course code	05900290
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFR 11119_032		
授業科目名 / Course title	● フランス語 (M1~M3_K(仏2)) / French		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習), 外国語科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	M1~M3_K(仏2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員研究室/Office	環境科学部棟実験棟1階		
担当教員TEL/Tel	eohashi ▲nagasaki-u.ac.jp (メールをする際は、▲を@に置き換えてください。)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日12:10~12:40 水曜日12:10~12:40 木曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	教科書は「シェ・マドレーヌ」を使います。この教科書は、大学を出た後、両親の「マドレーヌ」というカフェで働くマドレーヌが主人公です。マドレーヌは日本人のケントと出会い、仲良くなります。でもケントが日本に帰る時が近づいてきます。二人はどうなるのでしょうか？ この授業では、皆さんがマドレーヌとケントになって楽しい会話のアクティビティをペアやグループワークで行い、授業で最大限にフランス語を使います。そしてフランスで日常よく使われる、カフェでの注文の仕方、道の聞き方、買い物の仕方などの会話を学びます。 またフランスの観光地、プチック、美術館、カフェ、レストラン、音楽など、現代の流行の最先端をいくフランスの映像も沢山紹介します。さらにフランスのニュースや映画を通してフランスと日本の文化の違いも考え、客観的な物の見方も養います。 フランス語初習の学生を対象にし、フランスへ、旅行、語学研修、留学に行った時、日常生活で必要な基礎的な会話を、無理なく学び、フランスの音楽や映画、ニュース等文化的・社会的な側面にも触れることをねらいとします。		
授業到達目標/Course goals	1) フランス語の発音とつづり字の読み方を身につけ、単語、文、短い文章が音読できるようになる。 2) フランス語の挨拶や自己紹介、役に立つ表現を覚え、使えるようになる。 3) 英語にはない名詞の性について理解し、適切な冠詞を付けて「物」を提示したり「何ですか？」と問う文が使えるようになる。 4) 基本動詞 etre 「...です」、avoir 「...を持っています」の活用を覚え、自分について語ったり相手に質問したりできるようになる。 5) 国籍、職業などの語彙を覚えて自己紹介やある人を紹介できるようになる。 6) 日本について簡単に説明できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	☐ 汎用的能力 / Generic Competence ☐ 倫理観 / Ethics ☐ 多様性の理解 / Understanding Diversity ■主体性 / Autonomy ■協働性 / Cooperativeness ☐ 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	■A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over ■B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives ■C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills ☐D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems ☐E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above ☐F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験50%、小テスト20%、課題20%、授業態度10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		

事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習は、次の時間の授業のための課題を出します。(2h/回) 事後学習は、復習の課題を出します。(2h/回) 次の時間にその小テストをします。
キーワード/Keywords	
教科書・教材・参考書/Materials	「シェ マドレーヌ」(駿河台出版社)
受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	対面授業です。 旅行や日常会話のフランス語を楽しく学びます。フランス語学習を通じて新しい文化や生活習慣、考え方にふれます。フランス人の目を通して日本の文化を見直します。
学生へのメッセージ/Message for students	「大学の授業の中で一番フランス語の授業が好きでした! 授業を受ける前は、フランス語は難しいと聞いていたし、実際勉強は必要だけれど、すごく楽しかったです! フランスがとても好きになりました! (先輩のメッセージ)」ここまでは思えない人もいるでしょうが、楽しく学べて絶対会話ができるようになる授業を心がけています。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	「フランス語ってどんな言葉?」(1) 1) アルファベを発音しよう(1) 2) 単語を発音してみよう(1) 3) フランスってどんな国?
第2回	「フランス語ってどんな言葉?」(2) 1) アルファベを発音しよう(2) 2) 単語を発音してみよう(2) 3) フランス語で挨拶してみよう
第3回	「カフェへようこそ」(1) 1) tu と vous ってどう違う? 2) リエゾンって何? 3) 友達と挨拶をしてみよう
第4回	「カフェへようこそ」(2) 1) カフェで注文してみよう 2) 冠詞を知ろう 3) 名詞に男女がある
第5回	「写真見る?」(1) 1) 「~です」の動詞を覚えよう 2) 否定文にする 3) ペアレッスンで話してみよう
第6回	「写真見る?」(2) 1) 形容詞を知る 2) 20まで数字を覚えよう 3) 学生ですと自己紹介
第7回	「私の写真も見て!」(1) 1) 形容詞にも男女がある 2) おいしい! かわいい! すてき! 3) グループレッスンしよう
第8回	「私の写真も見て!」(2) 1) どの国の人? 2) 色を学ぼう 3) 「~です」の小テストをする

第9回	「兄弟いる？」（１） 1）「持っている」を学ぼう 2）持ってるものを言ってみよう 3）どんなペットを飼いたい？
第10回	「兄弟いる？」（２） 1）疑問文を作ろう 2）否定文も作ろう 3）おなかすいて、喉がかわいた。
第11回	「趣味は何？」（１） 1）er 動詞を知る 2）冠詞を知る 3）どこに住んでる？
第12回	「趣味は何？」（２） 1）ir 動詞を知る。 2）好き，嫌いを言ってみる 3）フランスの中の日本は何？
第13回	「どこに行く？」（１） 1）「行く」の動詞を使おう 2）フランスの地方はどんなところ？
第14回	「どこに行く？」（２） 1）映画に行こうよ。 2）カフェオーレを注文するよ 3）お店での会話、ペアレッスン
第15回	「会いに行きたい」 1）「来る」の動詞を知る 2）それどこ？ 3）何してるの？
第16回	定期試験